

授業科目名		担当講師名		対象学年	
倫理学		上山 敬補		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(15)	教室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、大学での講師としての実務経験のある教員による講義				
学修内容	倫理的相対主義、理性、欲望、普遍的な愛、人格の尊重、功利性の原理、公正としての正義、潜在能力アプローチ				
到達目標	日本看護協会が定める「倫理要領」は、看護者が「人間の生命、尊厳および権利を尊重すること」や「国籍、人種・民族、宗教、信条、性別、経済状態に関わらず、人々に対して平等に看護を提供すること」などを求めている。哲学の歴史を学ぶことによって、「他者の普遍的な尊重」を含む道徳原理の意味を深く理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	哲学における倫理学の位置づけ 実質的倫理学とメタ倫理学
2	「古代ギリシャ黄金時代」DVD鑑賞 ソフィストと倫理的主観主義
3・4	保守的ソフィスト・共同体主義と人間の同調性 ソクラテスと民主的な議論の価値 急進ソフィストと利己的人間観の問題 「ヒューマンなぜ人間になれたのか」DVD鑑賞
5・6	ソクラテスと民主主義 プラトンの人間観・他者尊重
7	功利主義と公衆衛生 費用便益分析 J. ロールズ 正義論 アマルティア・センにおける潜在能力アプローチ
8	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	参考文献 リチャード・ノーマン「道徳の哲学者たち」ナカニシヤ出版
成績評価の方法	レポート提出 筆記試験
備考	